



あのとときの常呂・写真館

VOL 83

(1974年)

昭和49年7月1日 サロマ湖観光ホテルオープン

▶サロマ湖畔栄浦にあった、かき島荘は、昭和33年6月に町営の簡易宿泊施設として建設され、昭和35年に増築。さらに、昭和38年5月に常呂町と北見バスが共同出資してサロマ湖観光観光株式会社を設立。新会社は、常呂町がかき島荘を現物出資、北見バス会社が3百万円を出資して資本金6百万円となり、かき島荘は実質北見バス会社が運営。同年6月には45ベッドのユースホステルを併置します。(「あのとときの常呂・写真館 VOL9 昭和42年8月1日 サロマ湖周遊地指定」に、かき島荘の写真を収めています)

▶その後、年々増加する観光客に対処するため、かき島荘の中央部分を改築し、昭和49年、鉄筋コンクリート3階建ての近代的な施設に生まれ変わり、「サロマ湖観光ホテル」としてオープンしました。*延べ面積2300㎡ *スペシャルルーム(バス・トイレ付) 洋室2, 和室2 *客室28 *大広間120畳、中広間30畳 *大浴場: 男女各1 *その他: みやげ品店・食堂・観光幌馬車・どさん子乗馬(観光パンフレットから)



観光ホテルパンフレットから

下2枚：サロマ湖観光ホテルの正面（左側がユースホテル）



*このサロマ湖観光ホテルは、観光の拠点としてばかりではなく、町民の会合などにも幅広く利用されましたが、昭和59年11月16日に「サロマ湖観光ホテルさよならパーティ」を経て解体され、12月8日の安全祈願祭の後、同じ場所に新しいホテル「サロマ湖東急リゾート」が建設され、昭和60年8月21日、竣工並びに開業披露祝賀会を迎えます。

*なお、サロマ湖東急リゾートは平成14年3月末で営業を停止し、阿寒グランドホテルに経営譲渡され、サロマ湖鶴雅リゾートホテルとして生まれ変わりました。

下：サロマ湖観光ホテルのパンフレットから施設内部の紹介

切り絵のような入り陽。夕映えのサロマ湖を感動的になっぷりと。

ご案内

さろま湖観光ホテルはサロマ湖湖畔の絶景のままで、最高といわれる半信宿に 있습니다。本館、別館とも鉄筋3階建てで新築に在し、あの有名なサロマ湖の「落日の夕マ」を浴びてまでお楽しみいただけます。お料理はオホーツクの味覚と山菜を中心にこだわって仕上げていますが、とくに、特産物鮭は日、かき貝料理は当ホテルの自慢のメニューです。サロマ湖の一日を楽しく、出だしていただくために従業員も一つにしてご奉仕申し上げております。

思い出をお持ち帰りください。



(地方発送も受付けております)



ロビー



フロント



レストラン



プール



売店



客室

◇設備の概要◇

- 特室
- 洋室2室、和室2室
- 客室(TV、電話付) 28室(収容人員170名)
- 大広間(120畳) 中広間(30畳)
- 大浴場 男女各1
- 駐車場 送迎バス
- ユースホテル 45名収容
- その他
みやげ品店、食堂、活員コーナー、スナック等



和室



サロマ湖の幸。取りたてでおもてなし。